

国道2号 関門トンネル 連絡調整会議 議事概要

1. 開催概要

日時:令和 7 年 9 月 26 日(金) 15:30～16:30

場所:九州地方整備局 外部会議室

2. 出席者

国土交通省

中国地方整備局 道路部長 大江 真弘

九州地方整備局 道路部長 福井 貴規

山口県 土木建築部長 仙石 克洋

福岡県 県土整備部長 馬渡 真吾

下関市 都市整備部長 即席 久弥

北九州市 都市戦略局長 小野 勝也(代理:計画部 部長 南 孝昌)

西日本高速道路株式会社 九州支社 保全サービス事業部長 荒平 裕次

3. 議事概要

<地方整備局からの説明>

- 維持管理有料道路制度の期限を延長するための政令改正が、8月1日に公布・施行された。
- これを受け西日本高速道路株式会社が管理を行うことを前提として、今後の対応について、会社より説明をいただきたい。

<西日本高速道路株式会社より、維持管理の現状と今後の対応について説明>

- 関門トンネルは海底トンネルという特殊な構造物であり、大規模な換気設備、排水設備を有しており、維持管理には多額の費用を要する。
- 供用後 70 年近く経過していることもあり、将来も安心してご利用いただくためには、老朽化が進行する床版の取替や換気・排水設備等の大規模な更新に加え、トンネル構造物の修繕・予防保全が必要。
- 加えて、料金所付近での渋滞や、車線逸脱による重大事故の発生といった課題があり、必要な財源を確保した上で、ETC の導入など、利便性・安全性等の機能向上が必要。
- さらに、近年は建設資材価格及び労務費が上昇傾向にあり、今後の管理コストに影響。
- 引き続き関門トンネルを安全・安心にご利用いただくためには、現行料金に加えて追加的な利用者負担について検討が必要。
- これらを踏まえた対応について、速やかに検討を進めていく。

<自治体(2県2市)からの意見>

- 西日本高速道路株式会社から説明のあった老朽化した設備の大規模更新や構造物の修繕、利便性向上を含めて適切に行っていただき、交通機能を維持し続けていただきたい。
- 併せて、料金所周辺での混雑緩和や利便性向上のために ETC の導入をお願いしたい。
- これらの対応を進めるため、現行料金に加えて追加的な利用者負担について検討が必要であることは理解。
- 利用者負担については、利用者への影響にも配慮いただくとともに、利用者の理解を得られるよう努めていただきたい。
- 引き続き、トンネルの老朽化対策や機能向上の実施等、今後の維持管理に必要な対応に関する調整をお願いしたい。

以 上